



学校教育目標

「国際社会を 心豊かに 元気に かしこく 生きる子どもの育成」
「 わかった・できた・学び合おう ～主体的・対話的で深い学びの授業を目指して～」

4 質の高い教育を
みんなに



めざす子どもの姿

豊かな人間性

思いやりのある子ども
よく考える子ども

健康・体力

元気のある子ども
健康な心と体を鍛える子ども

子どもの実態（意識調査より）

| | |
|------------------------|-------|
| 学校に来るのが楽しい | 81.8% |
| 授業に主体的に取り組む | 77.0% |
| 自分によいところがある | 81.8% |
| みんなと協力して取り組む | 80.0% |
| 互いのよさを生かして 解決方法を決める | 55.9% |

子どもにつけたい力（資質・能力の育成）

○何を身につけるか・何ができるようになるか

- ・主体的に考え、状況に応じて課題を解決しようとする。
- ・学んだ知識や技能を用いて、よりよく解決しようとする。
- ・自分の思いや考えをわかりやすく説明しようとする。
- ・自分や相手のことを大切にしようとする。
- ・様々な考えから自分の考えを深めようとする。
- ・目的に応じて、互いの考えや思いを伝えようとする。
- ・適切にコミュニケーションをとろうとする。
- ・自分や相手のいいところをわかろうとする。

○何を学ぶか

- ・互いの違いや立場に気付き、尊重できる態度。
- ・自分の考えを持ち、様々に表現できる力。

○どのように学ぶか

- ・グループ活動やペアワークを通じて、多様な見方や考え方を学ぶ。
- ・シンキングツールをもとに、自分の考えを深め、相手に伝える経験を重ねる。

学校の研究推進

各研究部会による重点的な取組み

教科教育研究部会

重点教科:算数科

- ◎新たな課題に対して今までに学習した知識・技能を用いて解決する力
- ◎言葉・図を使ったわかりやすいまとめ方、説明の仕方
- ◎自分や友達のことを関連付け、新たな考え方を作出す力

ICT・情報教育研究部会

- ICT(情報通信技術)機器を活用して、学びを深める
- ◎プログラミング教育におけるカリキュラム
- ◎タブレット活用方法
- ◎タブレットを活用した実践
- ◎情報モラル教育

人権・道徳教育研究部会

- 自分も友だちも大切に
安心できる集団づくり
- ◎自尊感情・人とかかわる力・協力する力を育てる道徳の授業づくり
- ◎共に学んでいこうとする集団づくり
- ◎いのちの教育

英語・外国語教育研究部会

- ◎主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力
- ◎国際理解を深め、外国の文化や違いを認めあう多様な価値感、考え方を学ぶ
- ◎ペアワーク、グループ活動を通して表現

学校

各教科、特別の教科道徳、外国語活動
総合的な学習の時間、特別活動の実践

- 学校、家庭、地域等による指導体制の構築と充実
- 子ども理解を基盤とした授業の実施
- 学校、家庭、地域等の連携と協働
- 登下校時の見守り体制強化に向けた学校と地域の連携
- 学習効果を最大化するためのカリキュラム・マネジメントの作成と管理
- 地域と連携した安全教育の実施
- いじめ、虐待防止・不登校対策の推進と連携強化
- ICT 機器等を活用した学習活動の充実
- 幼保小連携・小小連携・小中連携の取組みの推進
- 開かれた学校づくりの推進
- 非常変災時等への危機管理対策と迅速な対応と連携

地域

家庭